

『結晶学・鉱物学』(藤野清志著)

2015年6月初版1刷発行

正誤表

1. 9頁, 表3.1: 赤で囲んだ部分を以下のように訂正.

表3.1 結晶格子と7つの晶系

結晶系	格子定数		空間格子	晶族(結晶点群)	
	条件	命名の約束			ラウエ群
三斜		$c < a < b$ $\alpha \geq 90^\circ, \beta \geq 90^\circ$	P	1	$\bar{1}$
單斜	$\alpha = \gamma = 90^\circ$ $(\alpha = \beta = 90^\circ)^*$	$c < a, \beta \geq 90^\circ$	P, C^{**}	$m,$ 2	$2/m$
直方 (斜方)***	$\alpha = \beta = \gamma = 90^\circ$	$c < a < b$	P, C^{**} F, I	$mm2, 222$ F, I	mmm
正方	$a = b$ $\alpha = \beta = \gamma = 90^\circ$		P, I	$\bar{4},$ $\bar{4}2m, 4mm, 422$	$4/m$ $4/mmm$
三方****	$a = b = c$		$R(P)$	3	$\bar{3}$
	$\alpha = \beta = \gamma$			$3m,$ 32	$\bar{3}m$
六方	$a = b$		P	$\bar{6},$ $\bar{6}m2, 6mm, 622$	$6/m$ $6/mmm$
	$\alpha = \beta = 90^\circ$				
	$\gamma = 120^\circ$				
等軸 (立方)	$a = b = c$		P, F, I	23	$m\bar{3}$
	$\alpha = \beta = \gamma = 90^\circ$			$\bar{4}3m,$ 432	$m\bar{3}m$

*单斜晶系では対称の軸は1方向だけであり、これを**b**とするのが古くからの習慣であった。しかし最近ではこれを**c**とすることが国際的な規約として認められ、現在では両者が用いられている。

削除

**軸の選び方によってはA、またはBの面心が現れてくる。

***元の表では斜方であったが、訳語の変更により直方(斜方)とする。

****三方晶系の格子には、菱面体格子(R)と六方格子Pの両方がある。

(桜井(1967)を改変)

2. 9頁、2行目：これを,,, という。→これらは3.3で述べる7つの晶系(crystal system)に分類される。

ただし、三方晶系には後述する菱面体格子Rと六方格子Pの両方がある。

3. 14-15頁、図3.5の立方の欄：上から3番目のm3 → m3*, 一番下のm3m → m3m*

図3.5の表題の説明：最下行に以下の文を追加。「*点群の以前の省略記号m3及びm3mは、

最新のInternational Tablesでは、それぞれm3及びm3mとしている。」

さらに引用元：(International ,,, 1972) → (International ,,, (1972)を改変)

4. 16頁、表3.3の正方晶系の3番目の方位：[100] → [110]

5. 18頁、下から3行目：三方格子 → 三方

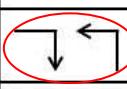
6. 18 頁, 下から 2 行目: 「,, 菱面体格子 (R) という.」のあとに以下の文を加える。「ここで三方晶系について, ひとこと触れたい. 三方晶系は, 1 個の 3 または $\bar{3}$ を持つ場合である. 従って, 格子としてはこの菱面体格子がそれに相当するが, そのほか六方格子中に 3 または $\bar{3}$ を持つ原子配列がある場合も, 三方晶系となる. 従って三方晶系は, 菱面体格子(R)と六方格子(P) の両方を格子に持つ.」

7. 20 頁, 6 行目: **三方格子は** → 三方晶系の菱面体格子は

8. 20 頁, 8 行目: 図 35 の点群も → 図 35 の点群は

9. 20 頁, 16 行目: **上記の,,, もの** → 4 個の 3 または $\bar{3}$ をもつ.

10. 23 頁, 表 3.5 (b) の記号 a, b と c の欄の赤で囲んだ部分を以下のように訂正 (文字の一部汚れている).

a, b	軸 映 進 面		$a/2, b/2, a_1/2$ と $a_2/2$
c			$c/2$; <small>菱面体の軸では $(a+b+c)/2$</small>

11. 28 頁, 9 行目: **Brag** → Bragg

12. 38 頁, 3 行目: **回折点の,,, による.** → 回折点の強度分布の対称性による. ただし, 対称心の有無は, 別途判定する.

13. 39 頁, (4.12)式: $\infty \rightarrow \infty$

14. 41 頁, 下から 4 行目: 4.1 節で **べた** ように → 4.1 節で述べたように

15. 75 頁, 下から 4 行目: $\text{CaMgSi}_2\text{O}_8 \rightarrow \text{CaMgSi}_2\text{O}_6$

16. 114 頁, 下から 6 行目: **(KIMA equation)** → **(KJMA equation)**

17. 117 頁, 下から 7 行目: **(modyfied spinel)** → **(modified spinel)**

18. 178 頁, B : **Brag** equation → Bragg equation

以上

2016.7.21